

# 中期経営計画2016の達成、 そしてその先の持続的な成長に向けて 事業基盤を構築してまいります。

OKIグループの2014年度の業績は、すべての事業セグメントで前期比増収増益を達成し、想定以上の成果を挙げることができました。

売上高は、情報通信システム事業を中心に各事業が堅調に推移したことから、前期比571億円増の5,402億円となりました。営業利益は、情報通信システム事業における物量増やプリンタ事業での機種構成の良化などにより同52億円増の324億円となりました。経常利益は、為替差益の減少があったものの営業利益の増加により同12億円増の379億円、当期純利益は、前期に発生した事業構造改善費用がなくなったことなどから同57億円増の331億円となりました。

2014年度は「中期経営計画2016」の初年度でしたが、非常に順調なスタートを切ることができたと考えています。期間利益の積み上げにより自己資本を強化する一方、配当につきましても1株当たり中間2円、期末3円の年間5円を実施いたしました。

2015年度は、「中期経営計画2016」で掲げた目標達成に向けて、基盤固めを着実に行ってまいります。成長領域であるATM事業は、中国をベースにその他の新興国市場での展開を加速し、ブラジルでも積極的に市場開拓を行います。プリンタ事業では、新商品の投入とチャネルサポートの強化により販売攻勢をかけます。国内市場では、次世代社会インフラ事業の立ち上げの本格化や、底堅い国内需要の確実な獲得を目指します。さらに、販売・生産拡大を目的とした積極投資を行い、成長の加速を図ります。

2015年度は、このような取り組みにより、売上高は前期比48億円増の5,450億円、営業利益は同24億円減の300億円、当期純利益は営業外の円安効果を見込まないことなどから、同111億円減の220億円を計画いたしました。

なお、2015年度の配当は、1株当たり中間2円、期末3円の年間配当5円を計画しております。株主のみなさまに対する安定的かつ継続的な利益還元を最重要課題として、今後も取り組んでまいります。

ステークホルダーのみなさまには、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2015年7月



沖電気工業株式会社  
代表取締役社長

川崎 秀一